平成30年1月28日（日）、長崎市浜の町アーケード（ベルナード観光通り）で、長崎県森林ボランティア支援センターが運営する「森のひろば」が開催されました。（主催は長崎県）

長崎南部森林組合（長崎支所）は、長崎県緑化推進協会と共に運営を協力しました。

当日は、あいにくの雨模様、時々雪が降るという寒い一日でしたが、そこはやはり長崎市一番の繁華街、人通りが絶えません。森林組合も木工品や組合員製造の椿油などを販売しました。多くの人に立ち寄っていただきました。

森林組合の目玉は、ヒノキ40年生の根株です。子供も大人も根張りを見て、「はじめて見た」、「根は何メートルぐらい伸びるのか」など、たくさん質問がありました。

11時からの開催でしたが、準備中からペン立てを買い求められ、午前中で売切れてしまいました。

ヒノキの板、布袋竹の杖も売り切れました。椿油は価格も高く、売れ残りを心配しましたが、2本が残っただけでした。（8本販売）

森の遊園地では、丸太や竹で作った橋、シーソー、ブランコで子供たちが楽しく遊んでいました。その横の丸太イスでは、保護者が休憩する光景が見られました。

他には、県産材の家具・小物の販売やワークショップでは竹雛づくり、竹ぽっくりづくり、竹灯篭づくりなど、親子で製作していました。

人や地域を支える、私たちの森。木に触れ、楽しみながら、大切な森のことを考えていただければ幸いです。

丸太と竹の橋

丸太のブランコ

丸太のシーソー

休憩用の丸太イス

ヘルメットをかぶり、チェンソーを持って伐採の様子を少し体験

以下は森林組合の展示、販売風景です。

ヒノキ40年生の根株。作業道現場より掘出し、重いので大変でした。

丸太にはスギ、ヒノキの枝。違いを知ってほしい。
机には、高性能林業機械による間伐の写真

ペン立て、早く完売しました。

布袋竹の杖、「何に使うの」と疑問、5本完売。

椿油もよく売れました。

ヒノキの無節の板、「香りがいい」と好評、完売です。

お買い上げ、ありがとうございました。

アーケードの放送を使って販売宣伝